



# 国民春闘共闘

第35号  
2021年7月5日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館  
TEL 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

21 国民春闘 夏季一時金第3回集計

**単純平均 1.83 カ月 552,803 円、加重 718,372 円**

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は7月1日、第3回目の夏季一時金集計を行いました。

<回答状況>

	2021年	2020年同期
回答引き出し組合	1,044	1,065
うち 有額回答	989(94.7%)	976(91.6%)
うち 妥結組合	328(31.4%)	493(47.2%)

<要求と回答内容>

集計方法&対象	2021年回答	2020年同期	同期比
単純平均	月数	1.83	1.80
	額(円)	552,803	544,617
加重平均	額(円)	718,372	612,395
	組合員数	99,514	156,213

<前年実績との比較が可能な組合における金額・率の比較>

	組合数	うち前年実績以上	21年回答	20年実績	実績比
単純平均	月数	768	590(76.8%)	1.83	1.80
	額(円)	404	262(64.9%)	567,411	559,535

<非正規の仲間の回答状況>

	時給制	月給制	再雇用・時給制	再雇用・月給制
単純平均	月数	0.883 (0.797)	1.238 (1.152)	0.602 (0.599)
	額(円)	39,805 (44,336)	170,908 (174,297)	21,250 (62,028)

\*額または率のみの報告があるため、双方は連動しません。

\*言葉による回答は平均などの計算から除いています。

\*非正規の仲間の回答状況のかっこ()内は、昨年最終集約結果

## <集計結果の概要>

### 回答引出し・妥結状況

7月1日の夏季一時金第3回集計には、別表の24単産・部会から報告が寄せられました。1,044組合が何らかの回答を引き出し、そのうち金額もしくは月数などが明らかになっている組合(有額回答)は989組合となっています。回答引き出し組合数では、前年同期とほぼ同様の状況となっています。

### 回答内容

回答月数が判明している887組合での単純平均（一組合あたりの平均）は1.83ヶ月で、前年同期（20/7/1、1.80ヶ月）を0.03ヶ月上回っています。回答金額が判明している507組合の単純平均は、552,803円で前年同期（544,617円）を8,186円上回っています。また加重平均（組合員一人あたりの平均）は718,372円となっています。

回答月数の前年実績が明確にわかっていて同一組合での対比が可能な768組合の単純平均を前年実績と比べると、今期は1.83ヶ月で、前年実績（1.80ヶ月）を0.03ヶ月上回っています。額では404組合の単純平均で、567,411円で前年実績（559,535円）を7,876円上回っています。

昨年、コロナ禍による先行き不透明を口実にして下げられた傾向であったことから、各組合が職場の要求を背景に奮闘し、コロナ禍以前の状況に戻しつつあります。引き続き、一時金の引き上げを求めての奮闘が求められます。

### 非正規で働くなかまの賃上げ状況

非正規ではなく仲間の一時金獲得は、別表の9単産192組合から339件の獲得報告が寄せられています。

このうち、時給制労働者の一時金獲得では、建交労、JMITU、生協労連、全印総連、民放労連、出版労連、日本医労連、福祉保育労から170件の獲得報告となっています。月数報告のあった136件の単純平均は0.883ヶ月で、前年最終（0.797ヶ月）を0.086ヶ月上回っています。また、金額報告のあった69件の単純平均は39,805円で、前年最終（44,336円）を4,531円下回っています。（結果が連動しないのは、月数のみ、額のみの報告の組合があるため）。

月給制労働者では126件の獲得となり、月数の単純平均は1.238ヶ月（前年実績1.152ヶ月）、金額で170,908円（前年実績174,297円）となっています。

時給制の継続雇用者では14件の引き出しで前回集計から動きはありません。月数の単純平均で0.602ヶ月（前年実績0.599ヶ月）、金額では21,250円（前年実績62,028円）となっています。

月給制の継続雇用者では26件の引き出しとなっています。月数の単純平均で1.234ヶ月（前年実績1.308ヶ月）、金額では137,134円（前年実績97,806円）となっています。